

景況実感調査(2015年1月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面处理鋼板

- ① 亜鉛鉄板はお盆過ぎから秋口まで好調だったが、現在は一段落。酸洗鋼板はかなり弱く、値下げも見えるのではないかと。
- ② 荷動きが落ち込み、市況の立ち直りには時間がかかる見通しである。
- ③ 実稼働日数は前月並みながら、足元の受注状況は鈍く、繁忙感はまったく無い。太陽光架台向けは、施工予定の受注残数もまだ年前半は有るようだが、各電力会社の通電能力不足や、買い取り価格下落等で、年後半の見通しは立てづらい。関連の配電盤類も同様の動きとなっている。自動車や住宅等の耐用年数の永い商品は、昨年の増税前特需の影響がかなり大きく、金利がここまで下がれば上向くはずが動意も乏しい。やはり、大小問わず賃金アップして消費全体を喚起する必要を感じる。
- ④ 店売りは昨年来の低水準が年が明けても変わらず、厳しい経営を強いられている。

厚板

- ① 直近、厚板販売は低水準で、在庫量は6万トンの大台を割り、販売量も漸減している。

—舟安开形鋼

- ① 今後は、オリンピック関連の物件が出て来る。職人不足がネックになっている。
- ② 前年同月比については、消費税の駆け込み需要があったので比較にならないが、前月比については1月が変調のスタート月になるかは2月にならないと分らない。何れにしても、大幅な国内需要の下方変調はありえないので、営業努力次第で浮き上がる。

II形鋼

- ① 今月も実質稼働日数が少ないが、荷動き自体は悪くない。若干販価は弱含みだが、メーカーは据え置きを発表し、在庫にも歯抜けが出ているので、現状維持に努める。
- ② 市況は弱含みで推移している。需要の盛り上がりには欠ける状況が続いていることや、メーカーのぬるま湯的な状況が原因である。

異形棒鋼

- ① 昨年と違い荷動きは低調。実需の減少傾向が顕著で先行きに不安を感じる。メーカーは土木物件で安値、建築で高値と二極化販売をしており、ユーザーや流通の不信感は増大している。
- ② 動きは前年比では悪く、前月比では良くなっている。メーカーは水面下ではいろいろあるようだが、全体の仕入れは下がっていない。店売りは小口当用買い。市況は横這い。

平鋼

- ① 荷動きが一段と悪くなった。建築・土木関係の引合いがストップ。在庫用のまとまった荷も動いていない。価格はメーカーがスクラップ価格の動向を懸念し様子見。市中も荷動きの悪さから弱含みではあるが、様子見となっている。春先以降の建築需要に期待。

軽量形鋼

- ① 1、2、3月までは大きな変化はない見込み。

鋼管

- ① 1月は稼働日が少なく、収益を圧迫している。また、通常の1月より今年は輪をかけて少ない。1月下旬になったが荷が動く気配が無い。
- ② 12月が低調だった分、1月はやや好転するも前年比では総体的に良くない。

構造用鋼

- ① 需要動向については、自動車関連部品はメーカーによって生産計画が下方修正されており、全体的に減少傾向となっている。建設機械関連は、機種によってバラツキはあるが、1～3月は生産調整局面となっている。工作機械、一般産業機械関連は比較的堅調な動きが続いている。店売りの荷動きは、やや低下した状態が続いている。市況については、変化なし横這いで推移している。
- ② 紐付き、店売りともに厳しい状況が続いている。価格についても同様に依然として不透明な状況。

その他

<曲げ加工>

- ① 12月も芳しくなかったが、1月もいま一つ伸び悩み、毎年ではあるが春先は低調である。見積りも少なく、電話の回数も少なかった。曲げそのものが減少気味である。オリンピックの仕事はまだ先のように、特殊なものが多く果たして期待できるか疑問である。

<スクラップ>

- ① スクラップ価格を下げそうなマイナス要因が多く、まだ下げ止まったとは言えない状況だ。
- ② 世界的に鉄くず余りが感じられ、今後大変になる。

<金属表面処理加工>

- ① 1月は物件物、紐付きともに計画通りの扱い量となる。スポット物は前月同様、引合い、成約とも活発で大幅増となった。2月以降も紐付きユーザーの工程が順調なことから、プラント工事(国内)を含め安定操業となる予定。